

# 平成17年度 京の文化振興プラン関連事業一覧

(単位:千円)

担当(室)課名	事業名	事業概要	平成17年度の実績	新規 拡充 継続	プラン 項目	最終 予算額
文化芸術室	古典芸能振興事業費	・古典芸能の保存振興のための公演に対する助成 ・17年度は、次世代「文化」体験の要素を有する公演に対して、優先的に採択	・古典芸能の発展等を目的として活動する芸術家又は芸術団体等が京都で行う優れた古典芸能公演に対して必要な助成を行った。 ・助成件数 23件 ・助成額 計9,000千円	継続	次世代の文化創造	9,191
文化芸術室	舞台芸術振興・次世代体験事業費	次世代への「ほんまもん」の舞台芸術の鑑賞機会の提供、京都のアーティストを売り出すためのプロデュース公演、府民・NPO等との協働によるプログラムにより、府民が舞台芸術に親しむ環境を創出	・府主催事業に加え、民間団体(劇団四季等)とも協働しながら、幅広く(音楽、舞台、美術)次世代体験プログラムを実施した。 ・公演数 35(うち次世代10)、民間団体分 5 ・関係施設の次世代体験事業(展示系含む) 5 ・参加人数 2,284人	組替 新規	次世代の文化創造	15,000
青少年課	青少年文化活動育成事業費	子どもたちに優れた舞台芸術等に接する機会と、自らの文化活動の成果を発表する機会を与えることにより、子どもたちの文化活動の推進を図る。	当初の計画通り4公演を実施(総観客数:1,559名) 参考: 実施事業 5 / 5 室内合奏団コンサート 7 / 24 狂言 11 / 3 演劇 3 / 12 オペラほか	継続	次世代の文化創造	2,000
学校教育課	京の子ども伝統・文化体験事業費	伝統・文化体験事業	平成17年度の実績は、計画通り33中学校で実施。実施工芸は、京くみひも、京象嵌、京鹿の子、金箔(彫金)、木版画、京漆器、神紙工芸、竹材、西陣織、金属工芸、陶磁器と伝統工芸センターでのろくろ、絵付けの計12種類の伝統工芸体験。職人さんから直接京の伝統工芸の手ほどきをしていただく事業であり、生徒はもとより、教員、保護者からも好評を得ている。 (当初は、～の3年間の予定だったが、から3年間とし、残り67校を各年度ほぼ22校で実施予定。)	新規	次世代の文化創造	6,600
次世代の文化創造 計						32,791
文化芸術室	文化力創造懇話会運営費	文化力による地域活性化条例(仮称)の制定に向けた検討を進める。 ・条例検討委員会 ・関係団体への意見聴取・照会 ・条例制定に係る意見交換会の開催	・平成17年9月議会提案。全会派一致で成立。10月18日公布・施行。 ・条例検討委員会6回開催(3回、3回) ・意見交換会(南部会場、北・中部会場各1回、計206人参加) ・パブリックコメント(8月1日から1か月間)実施。32人(63件)から意見提出。	継続	文化力による京都活性化	2,000
文化芸術室	新たな文化マーケット創出事業費	・「文化による起業コンペティション」などの実施に向けた準備  ・若手作家と鑑賞者(購買者)の出会いの場となる「アートフリーマーケット」を開催	・文化力創造懇話会委員、経済関係団体、起業支援団体等(計58団体)への意見聴取を行い、平成18年度の事業実施に向けチャンネルづくりを進めた。 ・18年度、起業コンペの事業予算化を図るとともに、平成17年度のチャンネルづくりに向けた成果のもと、聴取した意見を参考に、起業コンペの推進母体となるCVNを早期に立ち上げる。  ・京都文化博物館他を会場に開催した。 ・会期:秋 平成17年10月14日(金)～16日(日) 春 平成18年3月17日(金)～19日(日) ・出展者:秋 84グループ、春 96グループ ・入場者:秋 15,690人、春 17,000人 ・売上:秋 約6,000千円、春 約6,100千円	新規	文化力による京都活性化	3,000
文化力による京都活性化 計						5,000
合 計						37,791